

# 義務教育学校に向けて



写真：第1回学校づくり委員会の様子

義務教育学校「中頓別学園」の幼小中一貫教育に向けて、こども園、小学校、中学校をつなぐ取り組みが進められています。今月号では、今まで行われてきた取り組みや今後の予定についてご紹介します。

## 幼小中一貫教育とは

幼小中一貫教育とは、こども園での幼児教育3年間と、小学校・中学校の9年間を合わせた12年間を、一貫した教育カリキュラムに基づいた教育を行うことで、こども園から小学校に入学したときに起こる「小1プロブレム」や、小学校から中学校に進学した際に起こる「中1ギャップ」での子どもたちのとまどいや不安を解消します。また、こども園、小学校、中学校の先生が協力して、子どもたちを見守ることができま

進室の職員と小学校・中学校の管理職の先生で組織されており、中頓別学園準備の調整や協議を行う中心的な役割を担っています。小学校と中学校では授業時間や教育カリキュラムが異なるため、中頓別学園で一貫した教育カリキュラムとなるように調整が進められています。

この他にも、こども園、小学校、中学校の先生方全員が、ICT、地域連携等、8つのプロジェクトチームに分かれ、定期的話し合いをしながら、幼小中一貫教育に向けて準備を進めています。

こども園や小学校、中学校では、幼小中連携授業が行われています。令和5年度は、小学校の養護教諭の先生がこども園で園児に健康教育を行いました。また、教育委員会の指導主事が、こども園と中学校で「こころの授業」を行いました。

## 新しい学校づくり委員会開催

今年度から、今までの「小中連携委員会」を「新しい学校づくり委員会」と改め、年に7回の会議が行われます。

## 今までの取り組みについて

月に1度「推進企画会議」が行われています。推進企画会議は、教育委員会の新しい学校づくり推



写真：小学校での学校づくり授業の様子

4月17日に、第1回新しい学校づくり委員会が開催され、先生や職員合わせて40名が参加しました。委員会では、中頓別学園の構想について共有された後、グループに分かれて話し合いが行われました。他校種の先生との話し合いの中で、それぞれの良いところや課題を見つけ、共有しました。

4月23日の第2回新しい学校づくり委員会では、いじめや不登校、12年ぶりに改訂された生徒指導提要に関する学習会を行い、子ども達がさらに安心して通える学校に、そして先生方が協力して見守っていただけるように学び合いました。

### 新しい学校づくり授業

令和6年度の新しい学校づくりの授業が開始されています。4月19日に、教育委員会の新しい学校づくり推進室の職員が小学校で1回目の授業を行いました。

5、6年生の授業では、モニターに中頓別学園のイメージ図を映し出しながら説明がされ、「ええっ！すごい！」と歓声が上がっていました。児童からは、「どんな給食が

食べられますか？」と質問があり、「オムライスが出てほしい」「メニューを選びたい」とアイデアが出ました。校則や校歌については今後の授業で考えていくこととしており、職員から「学校がこうなるといいな、というアイデアをたくさん出してほしい」と伝えられました。

### 今後の動きについて

引き続き、こども園、小学校、中学校の先生と教育委員会の職員で、中頓別学園開校に向けての準備や、子ども達が安心・安全に仮校舎での生活を送るための話し合い、教育課程編成に向けての協議、学習会などが行われます。

こども園や小学校、中学校では、今年度も養護教諭による健康教育や、指導主事による「こころの授業」などの幼小中連携授業が行われます。

小学校と中学校では新しい学校づくりの授業が行われ、仮校舎に引越す際の、児童や生徒の不安を軽減するための授業などが予定されています。